

団体名		公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター						
①	指 標 名	会員数及び会員就業率			目 標 値	会員数1,180人 就業率85%	実 績 値	会員数1,162人 就業率79.8%
	過 去 の 実 績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	運 成 率	会 員 数 98.5% 就 業 率 93.9%	運 成 状 況	未 達 成
	(単位: 人、%)	1,170、80.8	1,152、79.8	1,135、81.8				
	取 組 内 容	<p>※30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>第四期中期目標で、3大目標の一つである「就業先拡大」、「会員拡大」を掲げ、理事をメンバーとしてSC魅力化委員会、就業拡大委員会を設置し、進行管理を行いながら目標達成に向けて取組みを行った。</p> <p>①会員拡大 ・市報むさしのに会員募集とセンター案内記事を毎月1日号に掲載した他、1月中旬に、センターチラシを市内全戸に配布した。 ・市主催の行政関係団体連絡協議会や桜まつり・青空市など、関係団体の会議・イベントへ参加し、PR活動を行った。 ・東京都しごと財団と共同で60歳以上の市民を対象とした料理講習会を開催し、入会促進に努めた。</p> <p>②就業率(就業開拓) ・就業開拓員による事業所訪問や関係団体への営業活動を行った他、会員へ就業情報の提供のために「就業ニュース」を月2回発行した。 ・入会後の理事による就業相談会を12回実施。</p>						
	一 次 評 価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>・平成30年度末の会員数は1,162人で、目標値には達しなかったが、前年より27人増となった。就業率は79.8%で、前年より2ポイント減となった。 ・会員数については、平成23年をピークに減少傾向であったが、平成30年度に増加に転じた。会員拡大に向けた取組みが一定の成果を上げたものとする。就業率に関しては、就業開拓委員会の取組みが十分にできなかったことなどから未達成となった。 ・今後の方針は、会員拡大については取組みが一定の成果を上げたことから、シルバーチラシの全戸配布を再び行うことなど、広報活動に力を入れていく。就業率については、未就業者が2割程度いることから、未就業者の状況調査が必要と考えており、6月の定時社員総会時に実施する予定である。</p>						
二 次 評 価	<p>目標値には達しなかったが、チラシの全戸配布等の会員拡大に向けた取り組みが功を奏し、平成23年をピークに減少傾向だった会員数が増加に転じたことを評価する。今後も会員拡大に対する取組みを継続するとともに、就業率の増加に向けた取組みを進めていきたい。</p>							
②	指 標 名	事業契約額(請負・委任事業、派遣事業等)			目 標 値	393,000千円	実 績 値	407,869千円
	過 去 の 実 績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	運 成 率	103.8%	運 成 状 況	達 成
	(単位: 千円)	379,480	376,677	383,930				
	取 組 内 容	<p>※30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>第四期中期目標で、3大目標の一つである「就業先拡大」、「会員拡大」を掲げ、理事をメンバーとして各部会、委員会で進行管理を行いながら目標達成に向けて取組みを行った。会員数の増加や就業率の増加は、事業収入の増加にも直結することから、取組みとしては①と重複する。そのほかの取組みは以下のとおり。</p> <p>・企業の訪問等を行う就業開拓委員の募集を3回実施。 ・企業への開拓訪問の際に持参するパンフレットの見直し。</p>						
	一 次 評 価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>・事業実績としては、民間からの請負・委任事業が391,290千円、派遣事業が16,579千円、合計407,869千円となり前年度から23,939千円の増加となった。請負・委任事業では14,368千円、派遣事業は9,570千円の増加があり、目標を達成した。 ・主なプラス要因は公共部門で広報配布、いきいき支えあいサービス、民間では庭木・造園、アパート清掃などの事業が伸びており、需要の拡大があった。 ・今後の方針は、就業開拓を引き続き重点的に行っていくほか、公共部門や民間での需要に十分応えられるように、会員の確保や技術向上の研修を行っていく。</p>						
二 次 評 価	<p>請負・委任事業、派遣事業ともに前年実績を上回り、目標値を達成したことを評価する。引き続き、会員数増加、就業率増加の取組みとともに、事業収入の増加に向けた取組みを進めていきたい。</p>							
③	指 標 名	事務局体制の改善(臨時職員の削減)			目 標 値	常時雇用臨時 職員 0人	実 績 値	0人
	過 去 の 実 績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	運 成 率	100.0%	運 成 状 況	達 成
	(単位: 人)	1	1	1				
	取 組 内 容	<p>※30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>平成30年度に嘱託職員の3名の退職に伴い、臨時職員1名を嘱託化し、2名の嘱託職員を新たに採用した。常勤の臨時職員は削減した。また、目標達成のために掲げた取組みのうち、有期雇用嘱託職員に無期雇用制度を導入し、各担当のマニュアルの整備について取組みを進めた。</p>						
	一 次 評 価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>常勤の臨時職員の削減を行ったが、事務局は12名という少人数職場であるうえ、市OB職員、固有職員、再任用職員、無期雇用嘱託職員などが混在しており、さらに職員の半数が入所5年未満であることなど職員体制の課題は引き続いていく。今後の方針として、長期的な観点からの任用、職員研修を行い、個々の職員の能力の向上、事務分掌の再構成を行いながら、どのような職員体制が望ましいか検討する。</p>						
二 次 評 価	<p>職員の安定的な雇用及び職員の退職等への対応として職員体制の整備を行い、目標値を達成したことを評価する。引き続き、職員体制の課題を整理するとともに、職員育成の観点も踏まえた体制の整備に取り組んでいきたい。</p>							